



## ステッキホルダーの 寄贈を受けました



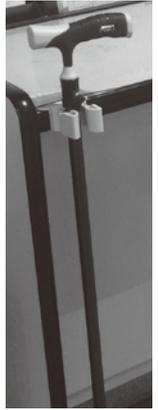
ステッキホルダーを手渡す児童

## 笠松小学校「まごころ贈呈式」

1月30日、笠松小学校で「まごころ贈呈式」が行われ、児童代表から広江町長にステッキホルダーが手渡されました。

笠松小学校児童は、ボランティア活動の一環としてアルミ缶回収活動を行い、その収益金で、毎年、町内の福祉施設に必要な品物を寄贈しています。

今年は、役場などの公共施設で使用できるステッキホルダーを寄贈していただきましたので、各施設に設置しました。



## リサイクル工場を視察



ガラス瓶リサイクル工場で説明を受ける参加者

## 廃棄物減量等推進員

2月3日、廃棄物減量等推進員など40人が、関市のプラスチック製容器包装リサイクル工場と大垣市のガラス瓶リサイクル工場を視察しました。

この視察研修で、ごみを分別することにより、リサイクル資源として有効に活用できることを実感し、分別の大切さを認識していただきました。

参加された皆さんは、今回の研修で学ばれたことを地域に伝え、今後のごみ減量やリサイクルに役立てていただくよう、ご協力をお願いします。

## 笠松通を目指して チャレンジ



検定の問題を真剣に取り組む受検者

## 笠松力検定

2月15日、中央公民館で笠松力検定が行われました。この検定は、町の魅力を再認識していただくために平成21年から始まり、今回で6回目となります。

初級検定は4者択一50問、中級検定は4者択一25問と記述25問、上級検定は記述20問と論述1問が出題され、90人が受検しました。

また、町内3小学校6年生236人が、1月9日に3者択一25問のキッズ検定に挑戦し、全員合格しました。

初級の受検者のなかには、キッズ検定に合格した小学生の姿もあり、「勉強する期間が短かったけど、頑張ったので合格できるとうれしな」と話していました。